

技術審査結果

< 実証技術の公募 >

平成23年6月9日(木)から平成23年6月22日(金)において、実証機関ホームページにて平成23年度実証技術の募集を行った。

< 公募結果 >

上記の公募の結果、「芙蓉パーライト㈱」(1件)より経年実証試験の応募を受け付けた。

< 審査 >

第1回技術実証委員会を7月7日(金)に開催した。

「自然地域トイレし尿処理技術実証試験要領第8版」の「対象技術の審査の要件」及び「地下浸透を伴う実証技術申請に対する取り扱い方針(第1回WG検討内容)」に基づき審査を行い、実証機関として、平成23年度自然地域トイレし尿処理技術の実証試験の対象とすることを認めることとした。

<参考> 実証試験要領第8版 対象技術の審査の要件

実証機関は、以下の要件に照らし、申請のあった技術を審査する。また、実証運営機関は、WGによる検討を踏まえ、必要に応じ、技術分野ごとの環境保全効果等に関する選定の観点を追加することができる。

(1) 形式的要件

- 申請技術が、対象技術分野に該当していること
- 申請内容に不備は無いこと
- 商業化段階にある技術であること

(2) 実証可能性

- 予算、実施体制等の観点から実証が可能であること
- 実証試験計画が適切に策定可能であること
- 実証可能な実証試験地を具体的に提案できること
- 実証試験地への設置が困難でないこと
- 実証試験地の設置条件と技術の適正稼動条件範囲が類似していること
- 実証機関が実証試験地の所有者及び山小屋等の管理人等の同意を得られること
- 実証試験にかかる手数料を実証申請者が負担可能であること

(3) 環境保全効果等

- 技術の原理・仕組みが説明可能であること
- 副次的な環境問題等が生じないこと
- 高い環境保全効果が見込めること

<参考> 実証試験要領第8版 資料4 . 実証試験計画

実証試験計画の作成にあたっては、技術実証委員会の検討・助言を得て、実証申請者と十分協議することが必要である。実証試験計画の内容は、以下の内容に基づき作成しなければならない。

- 1 . 表紙、目次
- 2 . 試験の概要と目的
- 3 . 実証試験参加組織と実証試験参加者の役割分担、実施体制
- 4 . 実証試験の対象となる自然地域トイレし尿処理技術の概要
 - (1) 実証対象となる処理方式の一般的特徴と技術概要
 - (2) 実証対象技術の特徴
- 5 . 実証試験実施場所の概要
- 6 . 実証試験の方法
 - (1) 稼動条件・状況
 - (2) 維持管理性能
 - (3) 室内環境
 - (4) 処理性能
 - (5) 周辺環境への影響

各項目について、担当組織（担当者）、スケジュール、実証項目、分析装置・手法等について記載する。

[添付資料]

実証試験計画には、次の資料を添付する。

- 申請資料
- 維持管理要領書
- 衛生・安全管理計画
- 参考となるその他の文書やデータ等